

特別活動（ホームルーム）指導案

令和元年11月13日（水）5・6校時（13:30～15:20）第1学年 第2体育館
指導者 林 昭紘

1 題材名 「自他の個性の理解とコミュニケーション能力の育成」

2 題材観（生徒の実態を含む）

本題材は、高等学校学習指導要領 第5章 特別活動 第2 各活動・学校行事の目標及び内容〔ホームルーム活動〕2内容（2）日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全 ア「自他の個性の理解と尊重，よりよい人間関係の形成」に当たるものである。本題材では、インタビュー実践やそのまとめの活動により自他の理解を深めたり、コミュニケーション能力を高めることがねらいである。

研究協力校は、1年生284名（男子144名、女子140名）7クラス編制である。学年全体で部活動の加入率が高く、学業と部活動を両立している生徒が多い。授業態度は積極的で新しい知識を取り入れようとする意識も高い。また、生徒の進路希望は、就職希望が約4割、進学希望が約6割となっている。卒業後、社会人になる生徒も多いことから、高校生活の3年間を社会へ出るための大切な準備期間として捉えている。そのため、自他の個性を理解して円滑な人間関係を築く力は大切であり、コミュニケーション能力の育成を学校全体で取り組んでいる。さらに、普段から新聞を読み慣れていない生徒が多く見受けられることから、新聞を活用した活動を取り入れる。生徒同士のインタビューや個人やグループでまとめる活動を行うことにより、自他の個性の尊重や、自己の理解を深め、人間関係形成・社会形成能力を身に付けられると考え、本題材を設定した。

3 研修との関わり

研修先企業である上毛新聞社では、記者として取材や原稿執筆を中心に取り組んでおり、これまでに前橋支局と運動部に所属をしている。上毛新聞社は地方新聞として、全国紙では大きく扱われない県内の情報を多く発信している。取材活動を通じてコミュニケーションの大切さや、正確な情報を得て事実を正しく伝えることを学んでいる。取材においては事前に相手のことを学習し、相手に好奇心をもち、考え方や内面を引き出すことが大切である。相手と適切なコミュニケーションを取ることで、有用な情報を得ることが可能となる。相手の個性を尊重し、よさを引き出すことができればよりよいコミュニケーションを取ることができる。また、新聞記事の活用によって社会に目を向け広い視野に立って物事を考えられるようにしたい。

4 指導方針

- (1) 生徒から、多くの意見を聞き、他者の個性を知ることによって自己理解を深められるようにする。
- (2) 意見交換が活発に行えるように、3～4人のグループ単位で活動をさせる。生徒一人一人が自分なりの意見や意思をもった上で、相手の立場や考えを尊重し、認め合えるようにする。
- (3) 上毛新聞社での取材経験を通じて学んだコミュニケーションの手法や、相手に関心をもって臨む姿勢の大切さを説明し、インタビュー実践が円滑に行えるようにする。
- (4) 周囲の友人と話す機会を多く設定し、コミュニケーションを取れるようにする。

5 評価規準（事前の活動→本時の活動→事後の活動）

評価規準	集団活動や生活への 関心・意欲・態度		
	集団の一員としての 思考・判断・実践		
	集団活動や生活につ いての知識・理解	上毛新聞での取材活動から、自他の個性の理解や尊重、コミュニケーション能力の大切さを理解している。	
時間	伸ばしたい資質・能力		主な学習活動
	知識・理解	思考・判断・実践	
事前の活動			・事前アンケートによる学校生活等の振り返り
本時の活動		インタビュー実践を通じて他者の考えを理解し、自分の考えを理解している。	・インタビュー実践 ・ワークシートへの記述
事後の活動			

6 本時の学習指導

- (1) **目標** 新聞記事を活用したグループ学習を通して、自他の個性の尊重とコミュニケーション能力を育成する
- (2) **準備** 【教員】コンピュータ、ワークシート、プロジェクタ、スクリーン
【生徒】筆記用具
- (3) **展開**

学習活動 予想される生徒の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する生徒への支援 ◇評価) (太字はキャリア教育との関わり)
<導入> 1 自己紹介	10分	・本時のねらいをスクリーンに提示する。
2 本時のねらいを理解する。 ・自他の個性の理解と尊重、コミュニケーションの大切さについて理解する。 ・事前アンケートの結果を見て、実態を知る。 ・企業で求められているコミュニケーション能力について考える。	10分	・アンケート結果から、コミュニケーション能力の大切さを伝える。 ・周囲の友人と相談し、企業で求められているコミュニケーション能力について考える。
<展開> 3 新聞社の仕事について理解する。 ・新聞に関する内容をクイズ形式で学習する。	10分	・発問により、生徒の関心・意欲を高める。 ・4択クイズで解答場所に移動させる。間違えた生徒は周りに座らせる。

<p style="text-align: center;">ー予想される生徒の反応ー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初めて知った。 ・新聞は、そのようにして作られているのか。 <p>3 研修先企業で学んだ内容を説明する。 15分</p> <p>4 コミュニケーションを円滑に行う上で、最も大切だと思うことをワークシートに記入する。 5分</p> <p>5 インタビュー実践① 10分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事例から他者に関心をもつことの大切さを理解する。 <p>5分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二人組で互いに趣味や部活、学校生活についてインタビューを行い相手の考えを聞き出す。 <p>10分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インタビューで聞き出した内容をメモする。 <p>5分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関心をもった（優れている）部分をワークシートにまとめ相手に伝える。 <p>6 インタビュー実践② 22分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新聞記事を読み、共感をもった内容を二つ書く。 ・新聞記事を読んで、どのように感じたかお互いにインタビューを行う。 ・インタビューした内容についてまとめた自分の考えと相手の考えの相違を踏まえて書く。 ・個人でまとめたワークシートの内容をグループ内で発表する。 ・他のペアの発表をメモする。 	<p>15分</p> <p>5分</p> <p>休憩</p> <p>10分</p> <p>5分</p> <p>10分</p> <p>5分</p> <p>22分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・周りの友人や先生に相談をしながら、考えてほしいことを伝える。 ・悪い例とよい例の対比から、相手に関心をもつことの大切さに気付くようにする。 ・提示した手順に沿ってインタビューをさせる。 ◎インタビュー活動が進まないペアに対して、学年の職員が支援をする。 ・なぜ共感をもったのか、その理由を考えさせ、自己理解につなげる。 <p>◇相手へのインタビューとまとめを通じて、自他の個性の尊重をして、相手に伝えることができる。相互理解を深めることができる（ワークシート）。</p> <p style="text-align: center;">(人間関係形成・社会形成能力)</p>
<p><まとめ></p> <p>9 感想 8分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションにとって大切なことをワークシートに記述する。 ・インタビューを受けて相手に関心をもってもらえる、相手が認めてくれることに対してどのように感じたかワークシートにまとめる。 	<p>8分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・インタビュー実践の前に記入した内容と実践後の記述と比較させ、答えの変容に気付かせながらまとめを行う。